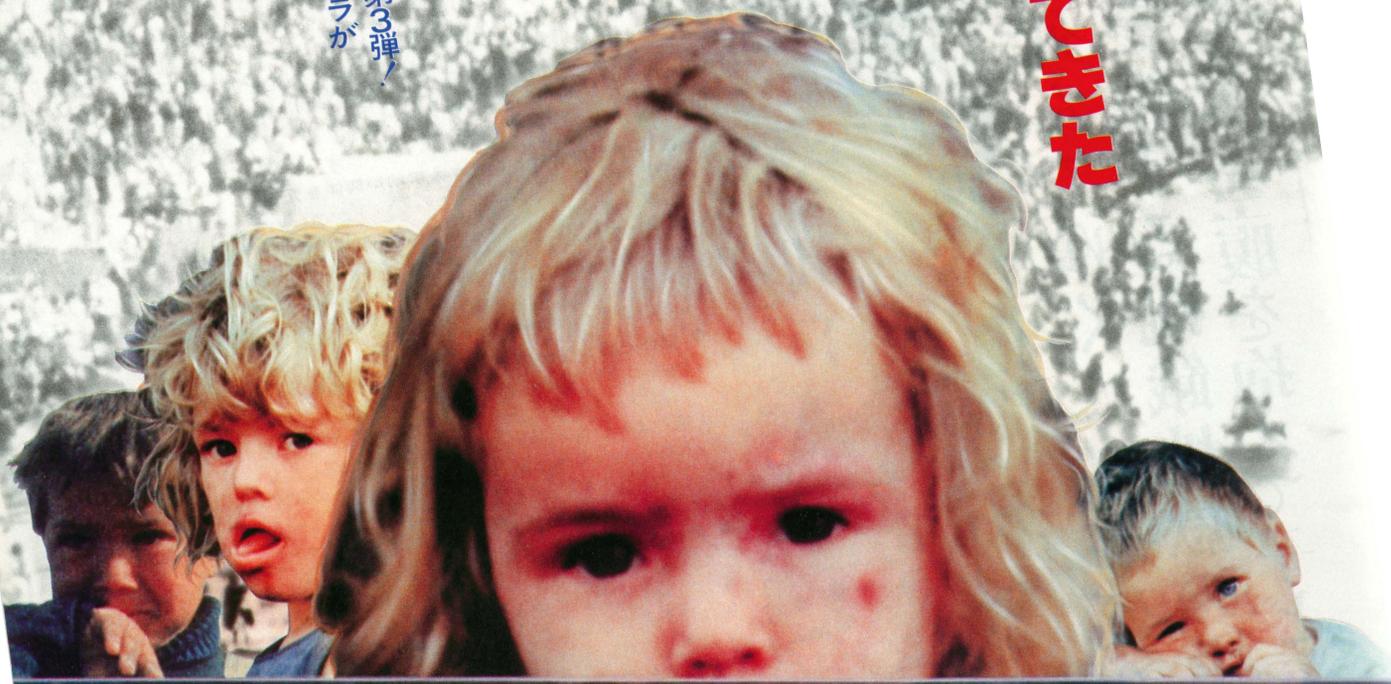


ただ、飢えて
死ぬためだけに生まれてきた
子どもたちがいる！



BALLATA PER UN PLANETA CHE MUORE

「ジャンク」「ジャンク2」に続くショック・ドキュメント第3弾
世界のハンゲ・ゾーン（飢餓地帯）を徹底取材したカメラが
驚愕の事実をスクリーンに突きつける！



飢餓

製作・監督 ジュゼッペ・スコターゼ / 撮影 クラウディオ・カスラギー / 音楽 マルチェロ・ジョバンニ・カラ・作品 > イタリア映画 松竹・富士映画共同配給



BALLATA
PER UN PLANETA
CHE MUORE

監督/ジュゼッペ・スコテーゼ
撮影/クラウディオ・カスラギー
音楽/マルチェロ・ジョバンニ
◆松竹・富士映画共同配給◆

カラー作品
イタリア映画

空が死んでゆく…海が死んでゆく…
想像を絶する飢餓地獄の中で
またひとり、空腹を抱えて子どもが死んだ!



● それでもメチル・アルコールを飲む!

コーラで喉をうるおす子どもたち、といった風景である。だが、この子は目が見えないのだ。彼が口にしていくコーラには大量のメチル・アルコールが入っている。そのメチルのために光を奪われ盲目になったのだ。慢性的な「飢え」から胃袋はもう固形物は受けつけない。メチル・コーラは飢えを忘れさせてくれる夢の水なのだ。うつろな瞳で少年は今日も危険な夢の水を飲みほすのだ…。



● わずかな食糧とひきかえに幼い肉体を売る!

スラム街——ゴミゴミとバラックがひしめきあっている。ひとりの少女が狭い道を歩いている。大きな袷ぐりの花柄のワンピースで12才のまだ幼い肉体を包んでいる。肩まで伸びた黒い髪ははいねいに梳かしつけている。腰をくねらせ大人びた雰囲気は精一杯に出す。男から声がかかる。歩み寄った少女はひと言ふた言、話しをするとの男の部屋に消える。彼女は売春をしているのだ。食糧とひきかえに…。



● 錆びたカン詰め腐ったミルクをすすす!

16キロメートルも続くゴミの山は、飢えた子どもたちの食料庫だ。トラックはひっきりなしにやって来て満載したゴミをぶちまける。子どもたちが蟻のように群がってくる。金目の物を探し出し、食べ物であればすぐ口に入れる…。少年は赤く錆びたミルクのカン詰めを見つける。底にはわずかに残ったミルクが残っている。腹は減っている。腐臭を放つそのミルクを少年は一気にすすすのだ…。



● 同情をかうために不具者になる!

浮浪児たちは生きるために想像もつかないことをやってのける。物乞いをして命をつないでいる少年は、身入りを増やすために自分で自分の足を傷つけ不具者となった。満足な体で物乞いするより同情をかうだろうという計画なのだ。ホコリっぽい雑踏の中に這いつくばって、少年はけん命に声を張りあげる。「お恵みを! お恵みを!」通りすがの人々は少年に注意も示さない…。



● 糞泥に棲むカニをナマでほおぼる!

下水道の排出口の上に作られた粗末なバラック。街を追われた貧しい人たちのスラムだ。床の下を糞尿が流れ悪臭を発生している。干潮になると糞泥が姿を見せ、そこに棲むおびただしいカニも姿を現わす。飢えた子どもたちは争ってそのカニを捕まえようとする。貴重なタンパク源なのだ。糞泥にまみれた子どもたちはそのカニを下水で洗い、ナマのままほおぼるのだ。糞泥に棲むカニを…。



● 餓鬼と化して人肉を食いちぎる!

地上で一番弱い生きものである子どもたちは飢えの連続の中で、けん命に生きようとしている。だが、大人の中には餓鬼道に堕ちるものがある。アフリカの雇われ兵が偶然に撮影したこのシーンは、黒魔術のミサでも何でもなく、ただ飢えを満たすために人間の腕を食べているのだ。まさに「ハンク」が引きおこす狂気の地獄絵図といえよう。大人は人間を殺して食べればよいだろうが子どもたちは…。

20日 (土)より 衝撃のロードショー

● 特別鑑賞券 ¥1200 (一般1500円 学生1300円 の処) 発売中!

渋谷東急
文化会館5階

渋谷東急 (407)
7029